

令和6年度(2024年度) 学校評価総括表 【伊丹市立松崎中学校】

| 教育目標 | | 未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成～家庭・地域とのつながりによるレジリエントな学校を目指して～ | | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|---|------|---|--|--|
| 重点目標 | | 1授業改善(主体的に学ぶ生徒の育成、学力向上・・・10の視点を意識した授業づくり、GTの見直し) 2教育相談体制の充実(ふりかえる帳の活用、不登校対策・・・校内支援センターの充実、支援員との連携) 3保護者、地域との連携(周年行事、情報発信・・・50周年記念式典、タイムリーな情報発信) | | | | | | |
| 主要 施策 | 施策目標 基本施策 | 重点項目 | 具体的施策 | 達成目標 | 自己評価 | 成果と課題 | 改善策 | 学校関係者の評価 |
| 知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成 学校教育 | 「確かな学力」の育成 ①授業改善 ②誰一人取り残さない取組 ③学校・家庭・地域の連携 | ①授業方向上を目指した授業改善の校内研修会を実施する。 ②誰一人取り残さない個別最適な学びを実現する。 ③家庭・地域と連携し、学力向上、学びに向かう力を推進する。 | ①研究テーマを「主体的に学ぶ生徒の育成～自ら課題を見つけ、見通しをもち、ともに学び合う授業づくり～」と設定した。学期末には教職員を対象に、研究主体に沿った授業改善にかかるアンケートを実施する。 ②ICT機器を効果的に活用し、生徒一人ひとりに応じた学びの場を設定する。評価方法について、研修会を実施する。 ③ホームページや学校通信等を通して、家庭や地域に積極的に情報を発信する。また、地域での生徒ボランティア活動を推進する。さらに、PTAや地域のボランティアスタッフの協力を得て、学力向上や行事、環境整備等の充実を図る。 | ①授業アンケートの実施3回、指導主事の招聘3回以上、研究授業・事後研修会3回を実施し、生徒質問「授業は楽しく、わかりやすい」肯定的回答を80%以上にする。 ②生徒質問「適切に評価している」肯定的回答を90%以上、保護者の肯定的回答を100%にする。 ③学校通信20号以上発行し、保護者質問「学校の情報発信」の肯定的回答が95%以上にする。また、ボランティア活動を積極的に推進(年3回)する。 | B | ①生徒質問「授業はわかりやすく楽しい」は昨年度の76%から82%に上がっている。「先生は教え方にいろいろ工夫している」は昨年度の93%から94%に上がり、「学習でわかりにくいことについて、先生に質問しやすい」は昨年度の72%から75%に上がり成果がみられた。 ②「適切に評価している」の回答が、生徒が92%、保護者が93%、教師が100%と、目標を達成することができた。 ③ホームページで学校行事の紹介や学校通信は20号以上発行し、保護者の「学校の情報発信」は96%で、積極的に情報を発信することができた。地域のボランティア活動では、スプリングフェスティバル、盆踊り大会、餅つき大会、GREENまつどき等に生徒ボランティアが参加することができた。 | ①生徒アンケートから、昨年度よりも高評価を得ることができたことは成果であると考えられる。しかし、この結果に満足せず、今後も分析結果を活かしながら、さらに教職員の授業力向上を目指して生徒の主体性を高める授業に全職員で取り組んでいく。 ②評価について、学習の手引きは教室で保管しているが、保護者にも教育活動内容や評価基準について理解を求め必要がある。 ③家庭や地域との連携を、より一層充実させ、効果的な教育活動を展開する。引き続き、ホームページや学校通信、等を活用し、本校の情報を積極的に発信する。また、学びポケットの積極的な活用を推進する必要がある。 | ①誤字が多く、表現や書く力が弱くなってきている。ICTもよいが、アナログも大切にしてほしい。 ②一人ひとりの生徒の評価について、保護者への理解を深めていただくことが大切である。 ③教員の働き方改革の影響により、以前に比べ、学校と地域の連携やボランティア活動等への関心が低下しているように感じる。 |
| | 新しい時代に対応した教育の推進 ①情報活用能力の育成 ②英語教育の充実 ③デジタル化の促進 | ICT機器の活用能力の向上を目指し、デジタル社会を見据えた教育を推進する。 | ICTやデジタル教材を活用して、生徒の興味・関心を高め、学びを深める授業づくりに務める。また、iPadを活用することで、自分のわからないところを調べたり、伝えたい内容をわかりやすくまとめるなど、個別最適な学びや協同的な学びの質の向上を図る。 | 生徒質問「授業の工夫」の肯定的回答が93%以上、保護者質問「授業の工夫」の肯定的回答が80%以上、教師用「意欲を高める授業作り」の肯定的回答が90%以上にする。 | B | 生徒質問「授業の工夫」に関する項目に対する肯定的回答は生徒が94%、保護者質問が90%、教師が91%で、目標を達成することができた。 | ICTを活用している教員は増えてきており、生徒もまなびポケットなどの活用にも慣れてきている。しかし、情報の取捨選択について、指導できるようにしていく必要がある。 | タブレットも大事だが、その反面、書くことが苦手な生徒が増えている。しっかりと書くことも、大事であることを生徒たちに理解させてほしい。 |
| | 「豊かな心」の育成 ①道徳教育の推進 ②いじめ等の未然防止、早期発見、早期対応に向けての組織的な取組の推進 ③不登校の児童生徒やその保護者への支援体制の充実 ④体験活動等の実施 | ①「考え、議論する道徳」及び「心の教育」を推進する。 ②いじめ問題への対応力の向上に取り組む。 ③不登校の予防に努める。 ④体験活動等を通じて、生徒の主体性を育成する。 | ①週1回、人権道徳部を開き、授業内容や情報交換を行う。全学年がローテーション道徳を行い、授業改善につなげる。 ②週1回、生徒指導委員会を開き、情報と対策の共有を行う。学年会や職員朝礼などで生徒の様子や各生徒への対策の共有を行う。 ③週1回、不登校対策委員会を開き、情報と対策の共有を行う。また、別室の体制を充実させる。 ④適宜、行事検討委員会を開き、情報交換や共有を行い、行事が安全・安心に実施できるようにする。また、今後の行事についても検討を行っている。 | ①生徒質問「自他への思いやり」「自尊感情」の肯定的回答が80%以上、教師質問「人権尊重」の肯定的回答が90%以上にする。 ②生徒質問「学校のきまりについて公平に指導している」の肯定的回答が85%以上、保護者質問「一貫した生徒指導」の肯定的回答が88%以上にする。 ③生徒質問「学校へ行くのが楽しい」、保護者質問「子どもは、楽しく学校生活を送っている。」の肯定的回答をそれぞれ80%以上にする。 ④生徒質問「行事は楽しい」の肯定的回答が90%以上 | B | ①生徒質問「自他への思いやり」「自尊感情」の肯定的回答は昨年を10%上回り85%となった。教師質問「人権尊重」の肯定的回答は100%となり、それぞれ達成目標を大きく上回った。 ②生徒質問「学校のきまりについて公平に指導している」が90%、保護者質問「一貫した生徒指導」が93%で、目標を上回った。 ③生徒質問「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が83%と保護者質問「子どもは、楽しく学校生活を送っている。」の肯定的回答が89%で目標を達成することができた。 ④生徒質問「行事は楽しい」の肯定的回答は91%で目標を達成することができた。また、必要に応じて行事検討委員会を開き、林間学校のあり方について再検討するなど、これからの行事に向けて生産的な議論を行うことができた。 | ①目標は達成されているが、今後もさらに研修と教材研究に励み授業改善を図る。 ②生徒一人ひとりの良さや個性を認め、温かい声かけを増やす。また、生徒の自尊感情を高め、魅力ある学校づくりに努める。 ③別室登校、時差登校、関係機関との連携による心のケアを促し、登校につなげる。不登校支援員とも連携し、別室での対応を充実させる。 ④校外での行事において、生徒指導やアレルギー、特別な配慮が必要な生徒への対応や、教員の負担軽減、物価高等について、整理する必要がある。また、修学旅行の行き先についても再検討していく必要がある。 | ①他の人への思いやりや自己肯定感を高められるような教育活動を計画する必要がある。 ②自己肯定感が向上してきている。今後、生徒の自尊感情を高め、他者を思いやる教育を展開してほしい。 ③学び直しができる高等学校もある。家庭と連携し、一人ひとりに応じた進路選択が行えるように努めてほしい。 ④行事の取り組み方を見直し、生徒が主体的に関わる場面に増やす。 |
| | 「健やかな体」の育成 ①児童生徒の体力向上の促進 ②魅力ある部活動の推進 ③発達段階に応じた健全な食育の推進 | 発達段階に応じた生徒の体力向上の促進 | 保健だより等を通して、健康管理について家庭への連携を図る。また、保健体育の授業やふりかえる帳(連絡帳)で就寝時間や、起床時間の確認、朝ご飯の摂取をしたかどうかの確認を行う。さらに、委員の生徒を中心に、学校保健委員会を実施する。 | 生徒質問「早寝早起き呼びかけ」の肯定的回答が85%以上、保護者質問「健康管理について保健便り」の肯定的回答が85%以上にする。 | B | 「規則正しい生活を心掛ける呼びかけ」は、生徒の肯定的回答が86%、「学校は健康管理について保健便りなどで保護者に伝えている」については保護者の肯定的回答は97%であり、学校側の取り組みについては保護者も認識していることから、目標を達成することができた。 | 生徒自身に「早寝・早起き・ご飯生活」を意識させるなど、教員間でも共通理解を図る。また、生徒への個別指導だけではなく、積極的に家庭の協力を促していく必要がある。 | 健やかな体を育成するためには、家庭との連携が大切である。今後、睡眠を中心とし生活習慣の改善が求められる。 |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|---|
| <p>教育相談・支援体制の充実</p> <p>①キャリア教育の推進 ②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用 ③教育相談の充実</p> | <p>自ら未来を切り拓ける力を養い、進路選択等を支援し、教育相談を充実させる。</p> | <p>個々の能力・適正・実態を踏まえた進路指導を行う。 学期に1回教育相談週間を設け、生徒への教育相談を行う。また、QUを6月と11月に行い、生徒や学級の状態を把握する。個々に、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなぐ。</p> | <p>生徒質問「学校は将来の進路について、正しい情報提供や指導をしてくれる」と保護者質問「学校は保護者に進路についての情報を知らせている。」の肯定的回答を80%以上にする。</p> | <p>B</p> <p>生徒質問「学校は将来の進路について、正しい情報提供や指導をしてくれる」と保護者質問「学校は保護者に進路についての情報を知らせている。」の肯定的回答が84%で、目標を達成することができた。</p> | <p>教育相談を担当だけでなく、学年団の教師選択制にするなどし、生徒が話しやすい先生と面談するなど工夫が必要である。 昼休みや休み時間、放課後などの時間を使って、声かけの時間を増やす。</p> | <p>学校での学習が、将来の役に立たないと思っている生徒が多い。学ぶことの大切さが感じられる教育活動が求められている。</p> |
| <p>特別支援教育の推進</p> <p>①伊丹特別支援学校の活性化 ②特別支援教育の充実</p> | <p>特別支援教育の充実を図る。</p> | <p>定期的に教育支援委員会を開き、支援の必要な生徒への実態把握や支援について検討する。また、特別支援教育支援員・学級担任、教科担任、部活動顧問等と連携し、情報共有する。さらに、巡回相談、学校園等コンサルテーションを活用し、要支援の生徒に適切な支援を行えるよう、専門的な立場からアドバイスを受ける。</p> | <p>②教師用「組織的な特別支援教育」の肯定的回答が100%、「個別の指導計画作成」の肯定的回答が100%にする。</p> | <p>B</p> <p>達成目標としている2つの項目について、肯定的回答100%を維持することができ、目標を達成することができた。また、多くの教員の特別支援への意識が高まっている。担任一人で抱えず、学年や学校全体で支援体制を相談、共有しようという雰囲気になっている。</p> | <p>個別の指導計画については、サポートファイルを小学校からの継続で作成している生徒がほとんどである。ただ、要支援生であるがサポートファイルを作成していない生徒もいるため、積極的に作成するよう推進していく。</p> | <p>多様性について、捉え違いがないように、充実した特別支援教育を行っていかなくてはならない。</p> |
| <p>教職員の資質向上</p> <p>①研修等の充実</p> | <p>研修等を充実させる。</p> | <p>定期的な研修会や夏季研修会、幼小中学校の合同研修会を実施し、教師の資質、指導力の向上を図る。また、自主教員研修(ブナ研)を計画的に実施する。さらに、校外研修については夏季休業中や時間に余裕がある時に積極的に利用するよう周知する。</p> | <p>校外研修1人3回以上参加し、自主教員研修(ブナ研)7回以上実施する。また、服務に関する研修3回以上する。</p> | <p>B</p> <p>夏季研修会や幼小中合同研修会と校内研修等、計画的に実施することができた。校外研修についても、一人ひとりが計画的に参加することができた。</p> | <p>今後も研修会を設定するには、職員の資質向上に向けて必要な研修会を行っていく。また、校外研修についても、これまで以上に、主体的に参加できるよう今後も声かけは継続していく。</p> | <p>これからの時代に求められる力を生徒たちが身につけるため、教員の意識をアップグレードし、授業の質を向上させる必要がある。</p> |
| <p>学校を支える組織体制の整備</p> <p>①コミュニティ・スクールの充実 ②地域と学校の連携・協働体制の構築</p> <p>教育環境の整備・充実</p> <p>①学校園防犯訓練・防災教育の充実 ②子どもの安全対策の推進 ③交通安全対策の推進 ④学校園施設の整備・維持保全 ⑤学校における働き方改革の推進</p> | <p>①コミュニティ・スクールの充実を図る。 ②地域と学校の連携・協働体制の整備をする。</p> <p>①防犯訓練・防災教育の充実を図る。 ②安全・安心な教育活動の充実を図る。 ③子どもの交通安全対策の充実を図る。 ④学校施設の整備体制を整え、維持保全に努める。 ⑤学校における働き方改革を推進する。</p> | <p>①学校・家庭・地域の連携・協働体制の一層の充実を図る。 ②積極的に学校の情報を地域に発信し、生徒、保護者、地域の理解を深める。 ③1年生を対象に関係機関と連携して自転車交通安全教室を行う。保護者の授業で交通安全について授業を実施した。 ④毎月、安全点検を実施し、技能員や施設課等に依頼して修理・修繕を行う ⑤事業の目的、計画を確認し、見直しをもった取組を行う。</p> | <p>①学校運営協議会を年3回開催し、熟議を重ねる。 ②教師質問「学校は保護者や地域の人たちへの積極的な学校(授業・行事)公開に努めている。」の肯定的回答を90%以上にする。 ①防犯や災害が発生した際の対応を身に着けるため、年2回の訓練を実施する。 ②夏場は、WBGTを毎日計測し、活動の内容を検討する。 ③生徒質問「交通ルール」の肯定的回答が80%以上、保護者質問「交通ルール」の肯定的回答が90%以上にする。 ④生徒質問「教室、校舎の環境整備」の肯定的回答が90%以上、保護者質問「施設、設備を大切にしている」の肯定的回答が95%以上にする。 ⑤教員超過勤務時間60時間以上の職員10%減にする。教師質問「仕事の分担」の肯定的回答が75%以上にする。</p> | <p>B</p> <p>①学校運営協議会を3回開催することができ、熟議することができた。 ②保護者質問「学校は保護者や地域の人たちへの積極的な学校(授業・行事)公開に努めている。」が97%で、目標を達成することができた。 ①年2回避難訓練を実施することができ、万が一のときのために備えることができた。 ②夏場にWBGTを毎日計測し、熱中症対策を徹底することができた。 ③生徒質問「交通ルール」が84%、保護者が91%と目標を達成することができた。 ④生徒質問「教室、校舎の環境整備」が91%、保護者質問「施設、設備を大切にしている」が95%と目標を達成することができた。 ⑤超過勤務月平均60時間の職員はR5年度は20名、R6年度は17名で17%減少した。目標は達成したが、偏りがある。教師質問「仕事の分担が適切で、職員集団として適切に機能している。」の肯定的回答は82%であり、目標を達成することができた。</p> | <p>①今後も、学力向上、不登校対策、働き方改革等について熟議を進める。 ②地域との交流・連携を充実させ、地域の教育力を有効に活用していく。 ①危機管理対応マニュアルを見直し、学校の防犯・防災の体制を充実させる。 ②今後も、熱中症と感染症対策について検討していく。 ③日常生活や部活動や校外学習などその都度必要な交通安全対策への取り組みを積極的に行う。 ④生徒自身が身の回りの整理整頓や掃除を積極的に行うような取り組みを行う。 ⑤各行事の意義目的を見直し、教育活動の精選を行う。また、各分掌において、業務内容の見直しを行う。</p> | <p>①それぞれの委員から様々な意見をいただき、熟議することができた。 ②地域の高齢化が進んでおり、深刻な課題となっている。地域の若い世代の協力が必要である。 ①いっどこで災害が発生するか分からないことを意識し、日頃から危機管理意識を高める必要がある。 ②安全・安心に教育活動を行うために、今後も対策を検討すべきである。 ③自転車に乗るのルールについて、今後も引き続き取り組んでいかなければならない。 ④安全・安心な教育環境について、今後も見直しが必要である。 ⑤教師のワークライフバランスが非常に大事である。ただ、地域と連携する時間の確保も大事である。</p> |

学校関係者評価総括

- 変化の激しい時代だからこそ、求められる力を生徒たちが身につけるため、授業の質を向上させることが重要である。
- 生徒が主体となり、創立50周年記念式典を実施することができた。
- 学校と家庭、地域が様々な課題に対して、連携して対応することにより、学校運営の改善に努めることができた。

次年度に向けた重点的な改善点

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる。
- 生徒たちが、松崎中学校を「自分の居場所」と感じられるような教育活動を展開していく必要がある。
- 生徒一人ひとりの多様なニーズに丁寧に対応することが重要である。
- 地域とともにある学校づくりの一層の推進に向けて、学校主体で地域と連携していく。